本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

G-ms
1865＊JA
USER'S GUIDE

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

- Shock resistant construction
- EL backlighting
- World time (29 time zone)
- 30 pages of Telememo
- 1/100sec. stopwatch
- Alarm/Hourly time signal
- Full auto calendar

安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△記号は「気をつけるべきこと」(注意) を意味しています。(左の例は感電注意)

⃠記号は「してはいけないこと」(禁止) を意味しています。(左の例は分解禁止)

●記号は「しなければならないこと」(強制) を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠警告

本機をスキューバダイビング (アクアラング) に使用しないでください。※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



ご使用上の注意

■防水性

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的 (2～3年を目安に) なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■磁気

- 磁気の影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータは付属の備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

※電池交換を行なうと、本機に記憶されているデータは消えてしまいます。大切なデータはノートなどに書き写しておくことをおすすめします。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル (エレクトロルミネッセンスパネル) は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

製品仕様

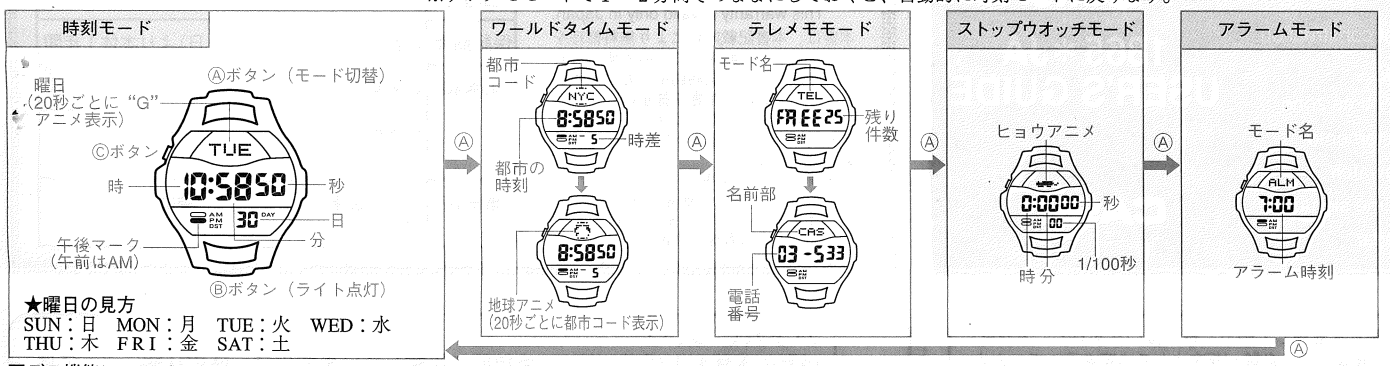
水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±15秒以内
表示方式	FE型液晶デジタル表示
基本機能	日・曜日、時・分・秒、午前AM／午後PM／24時間制表示、フルオートカレンダー (1995～2039年)
ワールドタイム機能	世界29タイムゾーン (28都市) の時刻を表示、サマータイム設定機能
テレメモ機能	名前 (8文字) と電話番号 (12桁) を最大30件までメモリー、自動ソート機能、残りメモリー件数表示
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99 (24時間計)　計測機能＝通常計測、積算計測
アラーム機能	時刻アラーム　セット単位＝時・分　電子音＝20秒 時報　毎正時に2回電子音で報時
その他	自動復帰機能、12／24時間制表示切り替え、EL (エレクトロルミネッセンス) バックライト点灯、デモ機能
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池	CR-1616 (電池別途販売)
電池寿命	約2年 (電子音20秒間／日、ライト2秒間／日使用したとき) ※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。 ・1日当たりライトを6秒使用…約19ヶ月 ・1日当たりライトを10秒使用…約15ヶ月

カシオ計算機株式会社

MA9807-006001A

操作のしくみと表示の見方

Ⓐボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります＞
※テレメモモードで１～２分間そのままにしておくと、自動的に時刻モードに戻ります。



★曜日の見方
SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

■デモ機能について
本機は工場出荷時に、本機の表示を自動的に見せる「デモ（デモンストレーション）機能」に設定してあります。（デモ表示では通常のボタン操作はできません）
●デモ機能の解除…Ⓐボタンを約2～3秒間押すと、デモ機能が解除されます。
●デモ機能にするには…解除時と同様にⒶボタンを約2～3秒間押し続けます。

ライト点灯について

時刻モード、ワールドタイムモードのときにⒷボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。
※ワールドタイムモードでは、ライト点灯中にもう１度Ⓑボタンを押すと都市コードが1つ進み、ライト点灯は行ないません。（「■都市のサーチ」参照）



＜ご注意＞
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、Ⓒボタンを押します
→「秒」が点滅します。



●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの修正
時報に合わせて、Ⓑボタンを押します
→00秒からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



●「時刻・カレンダー」合わせ
a. Ⓐボタンを押します
→「秒→時→分→12/24時間制切替→年→月→日→秒…」の順で点滅が動きますので、設定したい箇所を選びます。



b. Ⓑボタンを押します
→点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早送りします。



a、bの操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。
※12/24時間制切替のときは、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）とが切り替わります。

★「時」の午前（AM）／午後（PM）にご注意ください。
★「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(2)セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方　Ⓐボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界29タイムゾーン（28都市）の時刻を簡単に知ることができる機能です。なお、ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓑボタンを押すとライトが点灯しますので、ライト点灯中にもう一度Ⓑボタンを押します。
→都市コードが1つ進みます。なお、都市が送られてから2～3秒の間にⒷボタンを押すと、もう1つ都市が送られます。（「■都市コード一覧」参照）
※押し続けると早送りします。（ライトは不点灯）



■サマータイムの設定

各都市ごとにサマータイム*の設定ができます。
*サマータイム…DST（Daylight Saving Time）といい、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のこと。

(1)Ⓑボタンを押して、サマータイム設定したい都市を選びます。

(2) Ⓒボタンを押します
→“ON”または“OF”が点滅します。
OF＝OFF（通常時間）
ON＝ON（夏時間）



(3) Ⓑボタンを押します
→“ON”または“OF”が切り替わります。
※サマータイムONのときは“ON”、OFFのときは“OF”を点灯させます。



(4)セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まり、セット完了です。

■ワールドタイムの合わせ方

表示される29タイムゾーン（28都市）のうち、1箇所の時刻を合わせると自動的にすべての都市での時刻がセットされます。
※ワールドタイムの秒は基本時刻の秒に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

(1)Ⓑボタンを押して、時刻合わせしたい都市を選びます。

(2)Ⓒボタンを押して、“ON”または“OF”が点滅したら、Ⓐボタンを押します。
→「時」が点滅します。



(3) Ⓑボタンを押します
→点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早送りします。



(4)「時」のセットが終わりましたら、
Ⓐボタンを押します
→「分」が点滅します。
※「分」も「時」と同様にⒷボタンでセットします。



(5)セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	国名	コード	時差	都市名	国名
PPG	−11	パゴパゴ	アメリカ領サモア	JED	+3	ジッダ	サウジアラビア
HNL	−10	ホノルル	アメリカ合衆国	THR	+3.5	テヘラン	イラン
ANC	−9	アンカレジ	アメリカ合衆国	DXB	+4	ドバイ	アラブ首長国連邦
LAX	−8	ロサンゼルス	アメリカ合衆国	KBL	+4.5	カブール	アフガニスタン
DEN	−7	デンバー	アメリカ合衆国	KHI	+5	カラチ	パキスタン
CHI	−6	シカゴ	アメリカ合衆国	DEL	+5.5	デリー	インド
NYC	−5	ニューヨーク	アメリカ合衆国	DAC	+6	ダッカ	バングラデシュ
CCS	−4	カラカス	ベネズエラ	RGN	+6.5	ヤンゴン	ミャンマー
RIO	−3	リオデジャネイロ	ブラジル	BKK	+7	バンコク	タイ
---	−2			HKG	+8	香港	中華人民共和国
---	−1			TYO	+9	東京	日本
LON	+0	ロンドン	イギリス	ADL	+9.5	アデレード	オーストラリア
PAR	+1	パリ	フランス	SYD	+10	シドニー	オーストラリア
CAI	+2	カイロ	エジプト	NOU	+11	ヌーメア	ニューカレドニア(仏領)
JRS		エルサレム	イスラエル	WLG	+12	ウェリントン	ニュージーランド

※この表は1998年６月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラームの使い方　Ⓐボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻の設定

(1)アラームモードのとき、
Ⓒボタンを押します
→「時」が点滅します。
※アラームONとなり、アラームマークが点灯します。



(2) Ⓐボタンを押します
→「時→分→時…」の順で点滅が動きますので、設定したい箇所を選びます。



(3) Ⓑボタンを押します
→点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早送りします。



(2)、(3)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を設定します。

★「時」の午前（AM）／午後（PM）にご注意ください。基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

(4)セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに、アラームマーク・時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。



●デモアラーム

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

テレメモの使い方　Ⓐボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモは、「名前8文字＋数字12桁」のデータを最大30件まで記憶できます。また、データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。
*自動ソート…（スペース）、A～Z、0～9、.、－の順で、入力したデータが自動的に整理されます。

■テレメモモードにすると

残りメモリー件数を表示後、前回最後に選んだデータを表示します。
※名前部を４文字以上入力したときは、表示が横に流れるスイープ表示となります。
※電話番号を７桁以上入力したときは、最初の６桁を２秒間表示後、表示が横に流れるスイープ表示となります。

■テレメモデータを探す

テレメモモードのとき、Ⓑボタンを押すごとにテレメモデータが順番に表示され、押し続けると早送りします。



■データ入力（修正）のしかた

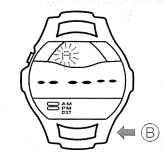
(1)Ⓑボタンを押して、空ページまたは修正したいページを表示させます。
※データが30件分セットされているときは、“FULL”と表示されますので、不要なデータを消去してください。



(2) Ⓒボタンを押します
→名前部の1桁目が点滅します。



(3) Ⓑボタンを押します
→点滅箇所の文字／数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早送りします。



(4) Ⓐボタンを押します
→「名前部1桁目～8桁目→電話番号1桁目～12桁目→名前部1桁目…」の順で点滅が動きますので、設定したい箇所を選びます。



上記(3)、(4)の操作を繰り返して、データを入力（修正）します。
※入力できる文字は名前部セットのときは（スペース）、A～Z、0～9、.、－で、番号部セットのときは－、0～9、（スペース）です。

(5) 入力が終わりましたら、Ⓒボタンを押します
→自動ソートが行なわれ、セット完了です。
※続けてデータ入力するときは(1)～(5)の操作を繰り返します。
※点滅表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

■消去のしかた

(1)Ⓑボタンを押して、消去したいページを表示させます。

(2)Ⓒボタンを押して、名前部の1桁目を点滅させます。

(3)Ⓐ・Ⓑボタンを同時に1～2秒間押すと、表示されているデータが消去されます。
※消去後は空ページとなり、新たにセットできます。

(4)Ⓒボタンを押して、点滅を止めます

ストップウオッチの使い方　Ⓐボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。（計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます）

■計測のしかた

（リセット）
Ⓑボタンを押します
→ストップウオッチモードのとき、Ⓑボタンを押すと計測を開始します。
※計測中は文字板のヒョウアニメが走ります。



※計測中にⒷボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度Ⓑボタンを押すとその時点から計測を再開します。（積算計測）
※「計測終了後Ⓒボタンを押す」または「Ⓑボタンを１～２秒間押す」と、計測値が０に戻ります。（リセット）

●通常計測
Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓒまた Ⓑ（１～２秒間） リセット

●積算計測
Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ …ロスタイム… Ⓑ 再スタート → Ⓑ ストップ → Ⓒまた Ⓑ（1~2秒間） リセット